

# 人権だより

2022. 6

大洲高校人権委員会

6月15日実施の公開ホームルーム活動について、人権委員の感想の一部を紹介します。1年生は「差別の現実学ぶ」をテーマに学習をしました。2年生は「人権の歴史」解放令以後の歴史から学び、3年生は「同和問題の解決を目指して」と題して、就職差別解消の取組から輝いた生き方について考えました。



1-1  
ジョハリの窓で、自分が周りからどんなふうに見られているのかがわかった。リフレーミングはプラスに考える大切さがわかった。



1-2  
人権委員であらかじめアイデアを出しておいて、困っている班をサポートできたので、活発なグループワークができた。



1-3  
まず自分のことを受け入れ好きになること、そして相手も自分も傷つけないようにすることを身に付けていきたい。



1-4  
寸劇を通して分かりやすく説明してくれたのがよかった。アサーティブコミュニケーションでより良い人間関係を築けるようにしたい。



1-5  
自分と他人の見え方の違いについて見直すことができた。これから自分の生活を見直して、自分のことについてさらに気付いていきたい。



2-1  
正しくないことをきちんと正せる“西村兵太郎”さんのような大人になりたい。長浜出身の彼は部落差別や結婚差別に真摯に向き合いました。



2-2  
差別と闘った人々の発表から、人権問題に対しどのような取り組みを行ったか学んだ。学習を活かして身近にある人権問題に取り組みたい。



2-3  
各班の発表から、安藤さんや児島さんなど愛媛の偉人の業績を深く知った。クイズ形式など楽しく人権のことを学び、有意義な時間になった。



2-4  
たとえ一人でも、勇気をもって間違っていることに立ち上がったり、手を差しのべたりすることができる人間になりたいと思った。



2-5  
制度としての差別から人の心による差別に変化していった今日、「差別を許さない仲間を作ることが大切だと強く思った。



3-1  
ハローワークで聞き取りをし発表した。身近な所でも就職差別につながるがあるので、今後の就職活動に生かしていきたい。



3-2  
全員が他人事ではなく真剣に取り組んだ。これから受ける面接で不適切な質問に正しく対処し、強い気持ちをもって差別解消に努めていきたい。



3-3  
これから就職面接を受ける機会が多くなるが、差別がなくなり、公正・公平に判断する会社が増えるよう適切に対処したい。



3-4  
授業を受けてなかったら、不適切な質問に答えていたと思う。次の代の人たちに同じ思いをさせないために、答えないことが大切だと思った。



# 人権委員 「考」



最近気になったニュースから人権委員が考えたことです。

## ウクライナ侵攻後の、ロシア差別の懸念

- “ロシア人だから”という理由で差別を行うのは**違う**。ウクライナ侵攻も、ロシア人へのヘイトスピーチも早く終わることを心から願っている。
- 一般市民は 물론、言語や文化にも罪はない。日本でもロシア人差別が起きていることを忘れてはいけない。
- ウクライナ侵攻に直接かかわりのないロシアの方々が差別を受けている。これは**間違っている**。傷つく人がないようにしてほしい。
- ▶世界中の人が間違った方向に怒りの矛先を向けないよう、メディアが正しい情報で呼びかけてほしい。
- 危機のたびに負の歴史が繰り返されてきた。そんな時こそ人達は助け合うものではないか。
- ▽軍事侵攻は**重大な人権侵害**です。一方で、**ロシア人差別も重大な人権侵害**です。

## LGBTQ+

- 松山市議選で初当選の渡辺さんは、偏見や孤独を経験しつつも**仲間や居場所を見つけて自分らしく生きてきた**。
- 大洲市が**パートナーシップ制度の導入を検討**すると表明した。私はこの制度が愛媛県でどんどん広がってほしい。
- 松山市議選で**LGBTQの方が自ら行動したこと、活動を応援したい**と思った。

## 傷つけない笑い

- ▲「人を傷つけない笑い」が注目されている。笑いは攻撃性と表裏一体の面も存在する。言葉の力は大きい。相手を思いやって言葉を発し、相手を信じるのが大切だ。
- ◆相手を傷つけないようなネタを芸人さんが考えて作っているそうだ。バランスをとって発言することが大切だ。
- 「べこば」のボケを否定せずに肯定するというツッコミはとて面白いと思う。

## 医学部不正入試

- ◆**女性が13人も差別的な理由で不合格になった。「なぜ女性がダメなのか？」と声を上げたい**。
- ◎大学入試で性差別があることに驚いた。有能な人材を医学界から減らす一因につながると思った。

## いじめ問題

- ▽2020年度の県内のいじめ件数は1535件と多く感じたが、前年度より622件減っているというのに驚いた。全国ではものすごい件数になると思う。
- コロナウイルス拡大による対面交流の減少によっていじめの認知件数は減ったが、根本的な問題解決が行われたわけではない。自分の周りから気を配り、悩んでいる人の相談に乗りたい。

## コラム

# 6月は、プライド月間

LGBTQ+の権利や性の多様性を考える期間を**プライド月間**って言うらしい。

マイリティーが生きづらいように感じるんだけど

偏見や差別があれば苦しいよね。

でもさ、みんなマイリティーの部分ってあるんじゃない。

だよ。わたしもあるもん。

いろんなマイリティーがつながっている社会がいいよね。

そうだよ。お互いを大切にすれば、友だちになるんだ。

友達になって、つながっていけばマジョリティーだよ。

マイリティーが生きやすい学校・社会は差別を許さない学校・社会で、そんな学校や社会はすべての人が生きやすい学校・社会です。

